

1991年(平成3年)
7月25日 木曜日(37)
(第3版郵便物認可)

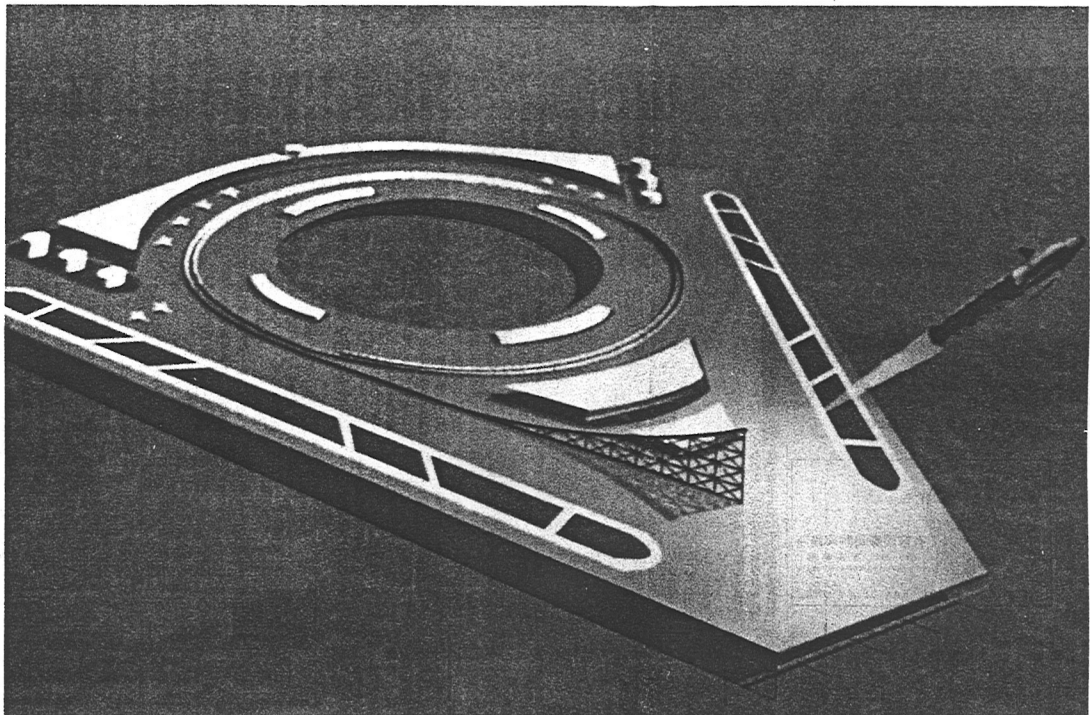
第2部

Business & Technology

日刊工業新聞

超精密とメカトロメーションを追求する
Seibu
西部電機株式会社

九州・山口の 夢プロジェクト



超電導ロケット打ち上げのイメージを描いた夢プロジェクトの図

超電導ロケット打ち上げ

科学技術新構想が相次ぎ浮上

東西の豪傑と世界は四極構造へ進みつつある。この中で最も発展の可能性を秘めているといわれるのが日本を占めたアジア圏。このアジア圏にあって日本は経済・政治・文化の中心的役割を担うべきではないかと、九州・山口は強く意識している。九州・山口は、歴史的な経緯から、東洋の玄関口として、アジアと世界の接点として、その重要性を認識している。

超電導ロケット打ち上げのイメージを描いた夢プロジェクトの図。超電導ロケットは、超電導コイルを用いて、超電導流体を加速し、推進剤を噴射することで、高効率で推進する。この技術は、宇宙開発や地球資源の探査に大きな貢献を expected されている。

現に福岡市を中心に対アジアを意識した都市づくり、産業基盤整備に取り組み、九州とアジア大陸を結ぶ海底トンネルを建設する夢のようなプロジェクト構想も持ち上がっている。各県でも人工島建設中が人、土地などで限界に達し、企業が地方へ分散を始めたことも地域浮揚の大きな力になっている。九州・山口地域全体が新しい時代へ向けての助走に入っている。

他の面の記事

- ▽航空・宇宙産業(38面)
- ▽九州国際空港(39面)▽スーパーライナー(40面)
- ▽日韓トンネル構想(41面)

他の面の記事

- ▽鼎談「言いたい、聞きたい、よかたい九州」(42-43面)
- ▽第二国土軸(45面)
- ▽大型技術プロ(46-47面)
- ▽三県架橋(48面)